

===== 2015.7.16

NPO 法人東京高次脳機能障害協議会 — <http://www.brain-tkk.com/>

T | K | K | メ | ル | マ | ガ | vol. 30

～目次～

【1】TKK活動

【2】関連団体の活動

【3】行政等の活動

【4】特集:この1年の活動を振り返って(TKK 加盟団体)

①高次脳機能障害者と家族の会 あきる野「こーゆう」

②高次脳機能障害の理解を広げたい 社のハーモニー♪

③脳損傷・高次脳機能障害 サークルエコー

## 【1】TKK活動

\* \*

●NPO 法人東京高次脳機能障害協議会 平成27年度 理事会・総会

6月21日(日) 調布市市民プラザあくろす

<理事会> 13:30～16:30

<総会> 16:40～17:40

2014年度事業報告・決算 及び 2015年度事業計画・予算等、議案の全てが承認されました。

<2015年度 TKK 主催:実践的アプローチ講習会(全3回)> 東京慈恵会医科大学西新橋校1号館講堂

●第1回 5月10日(日)

満席のご参加をいただき、講義日程の全てを終了しました

○第2回 8月23日(日): 申込み受付期間は7月19日～7月26日

①講師:片桐伯真氏(聖隷三方原病院リハビリ科/医師,)②大塚恵美子氏(千葉リハビリセンター高次脳機能障害支援センター/臨床心理士)、③大貫正男氏(成年後見センターリーガルサポート/司法書士)、④加藤俊宏氏(NPO 法人笑い太鼓高次脳機能障害者支援センター)

○第3回12月6日(日): 申込み受付期間は11月1日～11月8日

①講師:渡邊修氏(東京慈恵会医科大学附属第三病院リハビリ科/医師,)②野々垣睦美氏(NPO 法人脳外傷友の会ナナクラブハウスすてっぷなな/作業療法士)、③柳沢朋秀氏(国立リハビリセンター/障害者職業カウンセラー)、④半田理恵子氏(夢のみずうみ村新樹苑/東京言語聴覚士会/語聴覚士)

各回のプログラム、申込み期間や方法などの詳細については、以下のサイトでご確認ください。

TKK ホームページ [http://www.brain-tkk.com/index/show\\_information.php?boardAct=view&readNum=145](http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardAct=view&readNum=145)

TKK 情報専用サイト <http://www7b.biglobe.ne.jp/~brain-link/tkk.html#>

お問い合わせは、東京高次脳機能障害協議会事務局03-3408-3798へ

\* \* \* 第2回、第3回の受講をご希望の方はお早目に [tkkapproach@gmail.com](mailto:tkkapproach@gmail.com) 宛に、必要事項をご入力の上、送信してください。

<2015年度 医療及び家族相談会>

[http://www.brain-tkk.com/index/show\\_information.php?boardCode=FB20\\_1198201667&boardAct=view&crtPage=1&readNum=139&replyNo=103](http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardCode=FB20_1198201667&boardAct=view&crtPage=1&readNum=139&replyNo=103)

- 第1回6月14日(日)慈恵医大附属第三病院
- 第3回9月13日(日)慈恵医大附属第三病院
- 第5回11月15日(日)慈恵医大附属第三病院
- 第7回3月13日(日)慈恵医大附属第三病院

- 第2回7月12日(日)東京都心身障害者福祉センター
- 第4回10月18日(日)東京都心身障害者福祉センター
- 第6回2月14日(日)東京都心身障害者福祉センター

時間:いずれも13:30~16:30

定員:各回とも相談件数4件以内 費用:無料、どの会も医師及びTKK家族たちが相談員をいたします。

申込先電話:090-1734-5114、Email:kurakata@brain-tkk.com (いずれも担当は:蔵方)

## 【2】関連団体の活動

\* \*

### ●「高次脳機能障害者の親亡き後の支援と成年後見」 主催:高次脳機能障害若者の会「ハイリハ東京」

5月23日(土) 14:00~15:30 曳舟文化センター

====講師は、社会福祉士事務所「スペース・輪」の大輪典子氏でした。高次脳機能障害者の親なき後、養護なき後の財産管理や身上監護等々の権利を守るものに成年後見制度があるが、これこそ道具でも機械でもなく「人」であること・・・は、確かにその通りと、感銘深い言葉でした。しかし日本の成年後見制度は親族以外の専門家に依頼すれば、財産があればあるほど費用がかかり過ぎること、親族に任せれば一番横領事件を引き起こしていること、また、使いたいことに思うように財産を使えないことなど、諸問題があることも学びました。多くの人達がこの制度を利用し易くすることが、今後の課題であると痛感いたしました。====(細見みゑ)

### ●「交通事故被害者のための「首都圏支援集会」 一般社団法人交通事故被害者家族ネットワーク主催

5月31日(日) 13:30~17:00 東京エアシティーターミナル 1階会議室

#### ①「高次脳機能障害認定および法律上の問題と裁判の方向等」

古田兼裕氏(弁護士、交通事故弁護士全国ネットワーク 代表)

#### ②「脳外傷と高次脳機能障害」 講演:長谷川幹氏(三軒茶屋リハビリテーションクリニック 院長)

#### ③「東京高次脳機能障害協議会の活動と現状から思うこと」

細見みゑ氏(NPO 法人東京高次脳機能障害協議会 理事長)

#### ④交通事故に精通した弁護士による「交通事故[無料]法律相談会」後遺障害・死亡事案など人身事故のみ

====首都圏の医療、自治体、施設関係のソーシャルワーカーなど、相談に携わる専門家達が60人ほど参加。

講演①:古田弁護士……法律上認定される高次脳機能障害についての具体的説明、及び交通事故被害による高次脳機能障害者の具体的救済と法律手続きについて等々の講演でした。初めて参加なされた方々も損害賠償解決への道筋がつかめた事と思います。

講演②:長谷川 幹先生……脳外傷による高次脳機能障害について、事例を交えながら分かり易く解説していただきました。支援者や家族の心がまえの大切さなど心打つ内容でした。

講演③は私でした。……家族の立場から考察した高次脳機能障害者と家族の実態について、及び細見家の交通事故被害体験の報告、更に当事者の権利擁護や諸問題を提起し、親や家族亡き後の高次脳機能障害者支援について考えていただく機会といたしました。====(細見みゑ)

### ●「杜のマルシェ♪(今年で5回目)」 主催:杜のハーモニー♪

6月5~7日 深大寺曼珠苑ギャラリー、会員&地域の皆様の手作り品展示会・販売会

====「人と人をつなぐ、想いをつなぐ」をキャッチコピーに、障害のある方もない方も共生する社会を目指して始めた「杜のマルシェ♪」も今年で5回目を迎えました。当事者、地域の皆様の手作り市、展示・販売会です。人が人を呼び、出展者も広がりを見せ、また金曜日の初日から大勢の来客でにぎわいました。

共同作品の折り紙は、当事者が題を決めます。

今年は「桜」。完成した作品は調布市社協「ウインドウズ美術館」に飾っております。お近くにお出掛けの時には、是非ご覧下さい。====(伊地山敏)

### ○多摩高次脳機能障害研究会「講演会」

7月24日(金) 19:00~21:00 国分寺いずみホール

主催:多摩高次脳機能障害研究会 共催:アステラス製薬 参加費:無料

#### ①「東京都の高次脳機能障害支援の歩み」 渡邊修氏(慈恵第3病院リハビリテーション科診療部長/医師)

#### ②「高次脳機能障害を予防するための急性期治療の現状」高里良男氏(国立病院機構災害医療センター院長)

- ③「医療から地域リハビリテーションへの移行のポイント」高橋紳一氏(武蔵野赤十字病院リハ科部長/医師)  
 ④「東京高次脳機能障害協議会の活動と方向性」細見みゑ氏(NPO 法人 東京高次脳機能障害協議会(TKK))

**○2015 年度「高次脳機能障害講演会」** 朝日新聞厚生文化事業団主催

9月5日(土) 13:00~16:00 浜離宮朝日ホール・小ホール

後援:NPO 法人日本脳外傷友の会、NPO 法人東京高次脳機能障害協議会 参加費:1,000 円

基調講演:「当事者のライフステージに合った生活・就労・住まい」渡邊 修(慈恵第三病院・リハ科診療部長)

対談:「堀間 真さん(当事者)&橋本圭司(国立成育医療研究センター・リハビリテーション科医長)」

シンポジウム:「当事者(少年期)の地域での包括的な支援づくり」

コーディネーター:橋本圭司氏

シンポジスト:林田 麻理子(東京都立城北特別支援学校・特別支援教育コーディネーター・主幹教諭)

穴澤 啓太(高次脳機能障害当事者)、穴澤 芳子(母親)、

大塚 祐子(東京都心身障害者センター・地域課高次脳機能障害者支援担当

宮尻 京子(足立区障がい福祉センターあしすと・自立生活支援室)

**○脳外傷友の会15周年記念大会** 品川区立総合区民会館「きゅりあん」(京浜東北線 大井町駅前)

11月20日(金) 13:00 全国代表者会議 18:00 全国交流会

11月21日(土)

10:00 開会セレモニー(来賓あいさつ,当事者活動奨励賞 授与式など)

基調講演 上田 敏先生 座長 渡邊 修先生(日本脳外傷友の会・顧問)

13:00 『こんな支援があれば僕らは働ける』 橋本圭司先生と働く当事者の鼎談

コーディネーター:小川喜道氏(神奈川工科大学教授)

中島八十一氏(国立障害者リハビリテーションセンター)

藤井康弘氏(厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部部長)

瀧澤学(神奈川県総合リハビリテーションセンター)

古謝由美氏(日本脳外傷友の会 副理事長)

16:15 閉会セレモニー(大会アピール採択、次回開催地アピール)

**【3】行政等の活動**

\* \*

**●北多摩南部医療圏「支援研修会」**

6月28日(日) 13:00~15:50 東京慈恵会医科大学医学部看護学科1階大講堂

講演:「高次脳機能障害のある方への就労支援」、報告:「小金井市内の5事業所の報告 及び 事例報告」

===北多摩南部医療圏の支援者、家族、当事者達が50名ほど参加し、学び合いました。講演は、東京障害者職業センター多摩支所 井上 量氏の「高次脳機能障害者の就労支援について」でした。障害者雇用の実際・高次脳機能障害者の就労支援の実態(身体障害者と比べると厳しい)・高次脳機能障害者の就職や復職のポイント(事例を通して)など、理解が何よりの支援に繋がることを学びました。後半は、小金井市の5事業(あんず苑、障害者福祉センター、聖ヨハネワークセンター、エンジョイワークこころ、NPO うてな)の支援内容についての報告があり、高次脳機能障害についての理解があれば既成の事業で充分就労の場があることを知る機会になりました。===(細見みゑ)

**●平成27年度「評価者フォローアップ研修(専門コース)」** 東京都福祉サービス評価推進機構主催

7月8日(水) 10:05~10:55 小田急第一生命ビル19階 東京都福祉保健財団 会議室にて

講演:【障害者福祉サービスの現状を学ぶ~高次脳機能障害の現状~】

講師:細見 みゑ氏(NPO 法人 東京高次脳機能障害協議会(TKK))

=== この評価者フォローアップ研修(専門コース)は、毎年この時期に、評価者となった初任者に、3障害の他、高次脳機能、発達障害、難病などの各障害について、当事者や家族の講演によって学んでもらう研修会です。今年には80人ほどの専門員が参加していました。毎年、高次脳機能障害部門では、TKK の私が講師として呼ばれています。家族の目線による高次脳機能障害について、国や東京都の実態調査から見てくると、事例報告、TKK 活動について、今、課題としている成年後見制度の利用のあり方についてなど、講演いたしました。===(細見みゑ)

**●東京都主催 平成27年度「高次脳機能障害者相談支援研修会」**

7月15日(水) 13:20~17:00 東京都社会福祉保健医療研修センター 1階講堂

定員:250名 参加費:無料

講演1:「高次脳機能障害の基礎知識」 講師:渡邊 修氏(慈恵第3病院リハ科 教授)

講演2:「ご家族と当事者の体験談」

講師①:伊地山 敏氏(社のハーモニー 代表) 伊地山 悠子氏(当事者)

講師②:高井 玲子氏(みなと高次脳 代表)

○新宿区「高次脳機能障害者支援セミナー」(新宿区よりの VIVID 委託事業)

7月18日(土)13:30~16:30 新宿区戸塚地域センター 7F(多目的室) 80名 無料

テーマ:高次脳機能障害者と家族

公演①「家族会と支援者の活動から」 今井雅子氏(高次脳機能障害者と家族の会代表)

公演②「高次脳機能障害の問題、疑問、解決策」

渡邊修氏(東京慈恵会医科大学附属第三病院リハビリテーション科医師)

○国分寺市主催「講演会」

7月25日(土) 13:30~15:30 国分寺市障害者センター

「脳卒中後遺症からの回復~当事者となった高次脳機能障害専門家の視点から~」

講師:関啓子氏(三鷹高次脳機能障害研究所所長)

申込み:地域活動支援センターつばさ ☎042-321-1136

○西多摩高次脳機能障害支援センター主催「講演会」 無料(協力あきる野「こーゆう」)

7月25日(土) 13:00~16:30(受付 12:40) 羽村市生涯学習センターゆとろぎ 地下1階レセプションホール

発表:当事者2名による体験発表

講演:「知ってほしい!失語症の生活困難さと求められる支援」 講師:在宅言語聴覚士 平澤哲也先生

問合せ:西多摩高次脳機能障害支援センター(工藤・作業療法士)

TEL:042-597-1003(センター0直通)、042-597-0873(大久野病院直通)、FAX:032-597-3339

<平成27年度港区高次脳機能障害理解促進事業(港区よりのTKK受託事業)>

○港区主催 高次脳機能障害「相談会」 2015年度(4月~3月) 毎月第3木曜日 13:30~16:30

港区立障害保健福祉センター(ヒューマンプラザ) 6階 相談室

申込先:港区障害者福祉課精神障害者担当(TEL:03-3578-2457)

協力:高次脳機能障がい者の未来を紡ぐ会「みなと高次脳」

詳細は:

[http://www.brain-tkk.com/index/show\\_information.php?boardCode=FB20\\_1198201667&boardAct=view&crtPage=1&readNum=141&replyNo=105](http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardCode=FB20_1198201667&boardAct=view&crtPage=1&readNum=141&replyNo=105)

○港区主催 高次脳機能障害「講演会」(受託者:NPO 法人東京高次脳機能障害協議会(TKK))、

協力:東京慈恵会医科大学・高次脳機能障がい者の未来を紡ぐ会「みなと高次脳」)

9月27日(日) 13:30~16:30

高輪区民センター 1階 区民ホール(高輪コミュニティーふらざ内)

(地下鉄南北線・三田線「白金高輪駅」1番出口直結)

参加費:無料(定員250名)

講演①:「脳を刺激するリハビリテーション~高次脳機能障害への応用に向けて」

講師:原 貴敏氏(東京慈恵会医科大学附属病院医師/助教)

講演②:「高次脳機能障害~家族の目線から」

講師:柴本 礼氏(高次脳機能障害者の妻/『日々コウジ中』著者)

申込み:8月12~9月24 みなとコール:03-5472-3710

問合せ:港区障害者福祉課 03-35578-2457

#### 【4】特集:この1年の活動を振り返って

ここでは、TKK加盟の26団体(平成25年7月現在)のうち3団体ずつを順次ご紹介しています。  
(vol.25, vol.26, vol.27, vol.28, vol.29の掲載団体はHPメルマガバックナンバーでご覧いただけます)

## 高次脳機能障害者と家族の会 あきる野「こーゆう」 代表：藤原みどり

2008年、都心身障害者福祉センターの助言『会員の数ではなく一人でもいたら会を立ち上げて支え合っていくことが大事』により、当事者家族2名・あきる野市支援センター相談員1名でスタート、間もなくサポーター2名が協力して下さるようになりました。

現在、当事者7名・家族7名・相談員1名・サポーター2名で活動しています。

この1年の活動は、月1回の家族例会を開催。

内容は、4回にわたって西多摩高次脳機能障害支援センターへリハ職等の講師派遣を依頼し、在宅介護の相談支援していただきました。

近隣の高次脳機能障害に特化又は含む、デイサービス「あさがお」と就労継続支援B型「キッチンさかえ」「わーくあっぷ」の見学をしました。明るい可能性を感じ取りました。

年度末には、当事者・家族・支援者交流会（お好み焼、もちピザ作り）を開催しました。

並行して、西多摩高次脳機能障害支援センター講演会（7/25）等の協力をしています。

今まで、家族の心を支え合うことで精いっぱいでしたが、今年からは、当事者・家族共に活動しようとバス旅行（足利ココファーム見学・10/9）を企画しています。

## 高次脳機能障害の理解を広げたい 社のハーモニー♪ 代表：伊地山敏

### 「社のハーモニー♪」この1年の活動を振り返って

この1年の活動は、社のハーモニー♪設立5周年を記念した様々な催しを企画しました。

- ・平成26年3月……先崎章先生を講師にお招きし、調布市社協との共催による、我が国初の「低酸素脳症、高次脳機能障害」の講演会を開催しました。極めて厳しい生存率でした。障害を負った当事者とその家族にとって、どのような特有の障害があり、それをどのように受け止め理解し、どう取り組むべきかなど、先生は、とても分かり易く、たくさん示唆を与えてくださいました。

- ・平成27年1月……希望の家深大寺において、音楽会を開催しました。今回は、いつもご協力いただいている音楽演奏家に加え、地元出身で、アメリカNYで活動されている音楽療法士の方をお招きしました。会場も満員盛況となるなど、障害への理解と共に、演奏家と当事者、聴衆の皆様との暖かな交流が生まれ、楽しい雰囲気の中での演奏会とすることができました。

- ・平成27年6月……社のマルシェは5回目を重ね、多くの出展者と出品点数となるなど、初年度からは4倍を超える規模に成長しました。「手作り市」の名前の通り、出展者同士の情報交換や心の交流、多くの市民来訪者との温もりのある交流に発展させることができたのです。手作り市の名にふさわしい姿になり、地域の方のご協力があった、いつのまにか、私たちの予期せぬイベントへと成長していました。

## 脳損傷・高次脳機能障害 サークルエコー 代表：田辺和子

サークルエコーは、1998年秋に、3人の低酸素脳症の若者とその家族で活動をはじめました。3人が低酸素脳症による障害をもったことから、その後も同様な受傷原因の人たちが全国から入会してきました。会員が広域に点在しているため、なかなか顔をあわせての活動は難しいのですが、メーリングリストや会報などでつながり、年に1度は合宿を行っています。

昨年10月19日、東京都調布市の「たづくり」にて、15周年記念シンポジウム「高次脳機能障害をもつ人と家族の今とこれから」を開催しました。会員は、日常生活にも支援を要する人が多いので、そのことに焦点を当て、医師により「低酸素脳症のリハビリテーション」、作業所/グループホームの運営者に、「当事者との24時間の関わりから見えてきた可能性と課題」についてお話いただきました。さらには、「私たちの今とこれから」として、現在の生活を見つめ、どのような将来を考えるのか、そのためにはどうしたらよいかを話しあいました。これは、10周年合宿以来、様々な形で議論を重ねてきた「語ろう会」の15周年バージョンで、会場の皆様にも共有していただきました。

本年、5月19日～20日は、静岡県で合宿を行いました。岩手、岡山、三重などからの初参加の家族も含め、夜遅くまで語り合い、翌日は、三保の松原や清水港を散策しました。「今度は、近いところの人たちで集まりましょう」「いえ、遠くても、参加しますよ」と、これまで中央を経由しての交流だった会員たち同志の自主的な集いも企画されていきそうです。

これからも、サークルエコーは、会員たちの声をまとめ、重い障害があっても充実した暮らしができるよう、提言をしていきたいと考えています。

以上